

News

2014年度下半期 スタート！！

暑かった夏も終わって秋らしい天気が続くようになり、いよいよ2014年も下半期に突入しました。残り半年の研究生活に向けて一層気合を入れて頑張ってください。これからも食品・栄養化学研究室をよろしくお願い致します。

応用生命化学実験Ⅰ

10月14日(火)より応用生命化学コース2回生の学生実験の第2部『生体成分の一般分析』がスタートし、我々の研究室も例年通りTA をすることとなった。2回生は約1年半の間、週3回に及ぶ実験の日々が続くことになるが、まだまだ始まったばかり。彼らには是非とも気合を入れて取り組んでもらいたい。

今年は紅茶、緑茶、コーヒー豆、黒豆、黒米などの日常生活で慣れ親しんだものから、何とズッキーニまで幅広い食品が用意された。本実験ではこれらの食品に含まれる水分・タンパク質・脂肪・灰分・脂肪酸・炭水化物などの生体成分の定量を行うことで、一般的な実験操作の習得を目的としている。



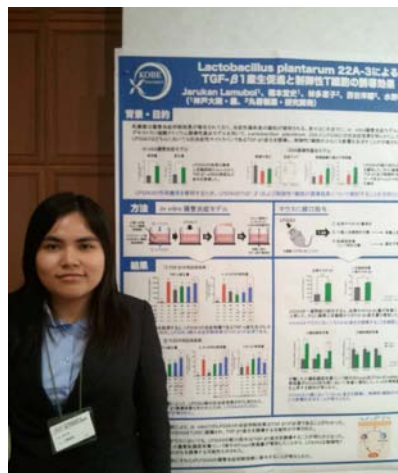
学生に実験手順を説明する藍原祥子助教。今年の2年生はやや女子の人数が多いらしい。

TA らはローテーションを組み、ケルダール分解やマッフル炉による

試料の灰化をアシストした。本実験は11月中旬まで続く。約1ヶ月に及ぶ実験のレポートを2回生らがどのように仕上げてくるのか、楽しみにしていよう。

日本食品免疫学会 第10回学術大会

10月16(木)～17日(金)、東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホールにて日本食品免疫学会 第10回学術大会が開催され、本研究室からは Jarukan Lamubol(M2)と横山友紀(M2)が参加した。会場では熱い議論が繰り広げられ、為になる学会となったようだ。



ポスターの前で立つ Jarukan(M2)。場数を踏んだだけあってか、緊張はしてなさそう。



こちらはポスターの前の横山(M2)の写真。プレッシャーでごめんなさい・・・by Jarukan

学会後、2人は東京観光へ。Jarukan は多くの日本の文化に触れることができ、非常に満足した様子であった。

ホームカミングデイ

10月25日(土)に第9回神戸大学ホームカミングデイが開催された。ホームカミングデイとは神戸大学のOB・OGらに大学を訪れてもらい、現在の大学の様子を現役生や職員とコミュニケーションを取る中で知ってもらおうという取り組みである。農学部はホームカミングデイはC101で行われ、我々の研究室からは谷野有佳(D3)がポスター発表を行った。ポスター発表の他にも学生による講演や懇親会なども催され、大変充実したホームカミングデイだったようだ。

第7回セラミド研究会 学術集会

10月30日(木)～31日(金)に東京ユビキタス協創広場 CANVASにて第7回セラミド研究会学術集会が開催され、本学会には桑田崇志(M2)が参加した。なんとこの会場、最近話題になったとあるドラマのロケ地として使われたことがあるとか。学会の会場とは思えないスタイリッシュなスペースであり、非常に広く綺麗な舞台を前に桑田はやや緊張気味だったようだ。

10月誕生日会！

今月も誕生日を迎えた学生をケーキでお祝いした。10月生まれだったのは宮本岳(M1)と嘉正雄太(M1)の2人。祝われる側人間が記事を書くのも少し変な気はしますが、気持ちを新たに頑張りたいと思います。ありがとうございました！



ケーキを囲む嘉正(M1、左)と宮本(M1、右)。マスクつけたままなのを忘れていました・・・

編集後記

10月に突入し今年度も半分を切りました。仕事がたくさん残っているにも関わらず、時間ばかり過ぎていき、若干の焦りを感じつつも日々を送っています。来月は噂の新メンバーをご紹介します！

嘉正 雄太(M1)

論文・学会発表

学会発表)

日本食品免疫学会 第10回学術大会 東京大学 伊藤国際学術研究センター

2014年10月16日(木)-17日(金)

○横山友紀、橋本堂史、水野雅史「小腸を介した食品因子の抗アレルギー効果を評価する新規評価法の有用性」要旨集 p.27

○Jarukan Lamubol、橋本堂史、林多恵子、西谷洋輔、水野雅史「*Lactobacillus plantarum* 22A-3 による TGF- β 産生促進と制御性 T 細胞の誘導効果」要旨集 p.28

第7回セラミド研究会学術集会 東京 ユビキタス 協創広場 CANVAS

2014年10月30日(木)-31日(金)

○桑田崇志、栗原浩誠、大戸信明、橋本堂史、水野雅史「パイナップル由来グルコシルセラミドが乾燥肌モデルマウスの免疫系に及ぼす影響」要旨集 p.14